

愛媛県 武道館 だより

第8号

平成19年2月
愛媛県武道館発行
〒790-0948
松山市市坪西町551
(☎089-965-3111)

「媛の国」柔道フェスティバル2006 ふれあい柔道教室 開催

平成18年12月9日(土)、10日(日)の2日間、愛媛県・愛媛県教育委員会・(財)全日本柔道連盟の主催により、「媛の国」柔道フェスティバル2006ふれあい柔道教室が開催されました。講師として、シドニーオリンピック銀メダリスト篠原信一さん・アテネオリンピック金メダリスト内柴正人さん・大阪世界選手権優勝者愛媛県出身の棟田康幸さん・全日本柔道連盟の指導者吉村和郎さん・村上清さんの5名を講師に、愛媛県内の小・中・高校生に寝技や立ち技の実技指導をしていただきました。

篠原選手の大外刈り、内柴選手の背負い投げ、棟田選手の払い腰など、それぞれの選手の得意技を目のあたりにした受講生たちは、スピードと技の切れを体感し、将来は自分もオリンピックに出たいと目を輝かせていました。

2日目には、選手への質問の時間がとられ、「篠原選手と棟田選手はどちらが強いのか?」「内柴選手は一日何時間練習しているのか?」といった子供たちからの難問に、篠原信一さんの軽快な進行で、ユーモアたっぷりに答えていただきました。

2日間でのべ2300人を超える子供たちが日本を代表する柔道家とふれあい、直接指導を受けることができました。

参加した子供たちの中から、2017年の愛媛国体で活躍する選手が、また、あこがれの選手のように世界を舞台に活躍する選手がきっと生まれてくることでしょう。



平成18年度高等学校 総合体育大会によせて

愛媛県少林寺拳法連盟 理事
松山工業高等学校少林寺拳法部監督
橋本 秀治

高等学校少林寺拳法部関係者が長年待ち望んでいた、少林寺拳法の高校総体種目採用が実現し、平成18年6月3日東温市スポーツセンターにおいて記念すべき「第1回愛媛県高校総合体育大会少林寺拳法」が開催されました。現在少林寺拳法部が活動している高校は新田高校、宇和島水産高校、松山工業高校、西条高校の4校ですが、それら以外にも道院や支部で修行している高校生拳士が所属高校から出場し、日頃の修行の成果を発揮し、初回にもかかわらず華やかな大会となりました。成績は下記のとおりでした。

- 男子組演武規定の部
優勝（新田）金本・新家 2位（宇和島水産）水元・松本
3位（松山工業）近藤・近藤
- 男子演武初段の部
優勝（新田）寺岡・森 2位（伊予農業）栢本・二宮
3位（松山工業）塩見・渡部
- 男子組演武2段以上の部
優勝（松山工業）橋本・重松 2位（新田）上本・森川
- 男子単独演武
優勝（松山中央）辻川 2位（八幡浜）佐藤
3位（新田）河本
- 男子団体演武
優勝 新田高校 2位 松山工業 3位 宇和島水産
- 男子総合
優勝 新田高校 2位 松山工業 3位 宇和島水産
- 女子組演武規定の部
優勝（新田）大田・山口
- 初段の部
優勝（新田）高橋・鍋屋
- 2段以上の部
優勝（西条高校）一色・乾
- 女子単独演武
優勝（愛大付属農業）石本
- 女子総合
優勝 新田高校 2位 西条 3位 愛大付属農業



（新田高校の団体演武）

本大会の上位入賞者は6月18日香川県藤井高等学校で開催された「第1回四国高等学校少林寺拳法選手権大会」に出場し、四国の高校生拳士が技を競い交流しました。その結果は次のとおりでした。

- 男子組演武規定の部
2位（松山工業）近藤・近藤
4位（宇和島水産）橋本・三浦
- 男子組演武初段の部
優勝（伊予農業）栢本・二宮
2位（新田高校）寺岡・森 5位（松山東）越智・武智
- 男子組演武二段以上の部
4位（新田）上本・森川
- 男子単独演武の部
優勝（松山中央）辻川 4位（新田）河本
- 男子団体演武
優勝 新田高校 4位 松山工業
- 男子総合
優勝 新田高校
- 女子組演武規定の部
2位（新田）大田・山口
- 女子2段以上の部
2位（西条）一色・乾

さらに11月19日愛媛県武道館において「全国高等学校選抜少林寺拳法大会県予選」が開催され、二人一組で行う組演武や一人で行う単独演武、六人一組の団体演武の競技が行われ、高校総体同様多数の高校生拳士が切磋琢磨してきた日頃の修行の成果を発揮して、それぞれ個々の力を出し切った意義ある大会となりました。

今年、少林寺拳法が高校総体の種目として採用されることにより、高校生拳士の交流や修行の成果発表の場が広がり高等学校少林寺拳法界にとりましては非常に意義のある1年となりました。

三大会を通して感じましたことは、少林寺拳法部が設立されている4校は当然参加拳士も多く好成績を得ていますが、少林寺拳法部がない高校からの参加者も多数あり、優勝者や入賞者がいることから、部活としてやっていないが頑張っている高校生拳士が多数いることがよくわかりました。このような拳士のためにも我々高校少林寺拳法の指導者は、より良い練習環境を作るとともに少林寺拳法部未設立の高校に働きかけ部設立を促進するよう、今までにも増して活動する必要があると感じさせられています。

高等学校に少林寺拳法部を設立することの最大のネックは指導者の確保にあると考えています。調べてみますと高等学校教師にも少林寺拳法の有段者がおられますし、地元の支部から指導者を派遣することも考えられますので、高等学校体育連盟や県少林寺拳法連盟のご協力やご支援を得ながら高校少林寺拳法部の振興に努力して行きたいと決意しております。

各武道団体からのご指導・ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

フランス柔道連盟 指導者研修会

愛媛県柔道協会 副会長
岡田 博

フランス柔道連盟では、1997年から指導者を国内全域から選考して、日本に派遣して、資質向上研修会を講道館、東海大学、国際武道大学、天理大学等々で実施しており、例年最終日に、無差別の全日本柔道選手権大会を観戦して帰国するとのことでした。

本年は、地方での研修会をしたいとの要望があり、全日本柔道連盟からの依頼により、昨年9月から準備を進めていたフランス柔道連盟指導者研修会を、平成18年4月20日～23日4日間実施しました。

4月19日、パトリック・ルー団長（ソウル五輪5位）、栗津正蔵氏柔道顧問をはじめフランス国内から選考された指導者48人が来日し、成田から羽田を経由して全柔連、村上清広報課長の引率で無事、松山空港に20時30分到着しました。

空港では、愛媛県柔道協会関係者が「Welcome French Judo Team」の横断幕で迎え、簡単でしたが暖かい歓迎式を行ったあと、直ちに三津浜柔道会のご厚意によるバスと、スーツケース満載のトラックを棟田理事長が運転して宿舎のスカイホテルに向かいました。



さすがに48人の荷物や部屋割り、かなり時間を要しましたが、その間に、行事や日程の詳細について打ち合わせを行い明日からの研修会に備えました。

開講式には、

フランス国旗と日の丸を配置して、五島県柔道協会会長、今井県教育委員会保健スポーツ課長、秋川県武道館長等が出席し、挨拶や歓迎の言葉、プレゼント交換が和やかに行われ、柔道の国際化と国際交流を愛媛の地で実感できました。

マスコミも柔道人口50万人のフランス柔道に関心を持ち、TV4社、新聞2社が来日目的や松山の印象を熱心に取材し、ニュースを見た市民が三々五々見学に訪れました。

愛媛県武道館の視察では、木造建築の美しさに驚嘆の声を上げ、主道場の施設設備について非常に興味を持ち、世界初の浮上式柔道畳床転換システムのデモンストレーションを全員感心しながら、地下倉庫からの搬出、主道場での展開、設置を手伝い、疑問点等について職員にいろいろ尋ねていました。

一行は、フランス国内各地区（県）から選考された指導者で、連盟指導者・個人道場主・クラブ指導者等48人、うち女性7人。年齢も28歳から65歳と大変幅が広く、研修会の進め方についても心配していましたが、ホテル出発時間前に全員バスに乗り込み、武道館に着くとすぐに着替えて形を始めるなど非常に意欲的で、毎昼食の弁当にも箸を使い日本文化に親しむなど真剣な態度が伝わってきました。

充実した講習会では、それぞれの技を身につけて帰ろう

と、年配の指導者も若い指導者も熱心に反復練習しながら、疑問点は直ぐに質問して練習するまじめな研修態度でした。パリ郊外に住むドルガル・レーモン（58）さんは「日本はよく技を磨いている。愛媛で学んだことをフランスに伝えたい」最年少28才のブインセント・ブロンディノさんは「武道館はすばらしい建築だ。技や指導法だけでなく、日本の文化も持ち帰りたい」と愛媛での研修意義を語っておりました。

合同練習では、大学生、高校生を相手に男性も女性もまた年齢に関係なく乱取りを積極的に行い、流れる汗に大変有意義な練習であったことを実感出来ました。見学者も多く来場して、今後の愛媛の柔道に良い経験と国際感を与えていただきました。

栗津先生から地方での特色、松山や愛媛の文化について説明するように求められ、松山城、道後温泉、俳句と子規及び記念館、日露戦争でコサック騎兵隊を破った日本騎兵の父、秋山好古・バルチック艦隊を壊滅させたT字戦法発案の秋山真之兄弟記念館、八十八ヶ所と石手寺等々を紹介したところ、それぞれ暇を見つけて意欲的に市内観光に繰り出し松山に親しんでおられました。また年輩の数人は、骨董にも興味があるらしく案内をした東雲神社通りの大街道商店街で古い陶器や漆器等手頃なものを買い求めています。

合同レセプションでは、商社勤務時フランス駐在経験の長坂整史氏（一橋大柔道部OB）の流暢な司会と通訳のもとフランスと愛媛の指導者がワインと日本酒による乾杯が続き、和やかに談笑し、水口氏（前松山大柔道部OB会長）の仲間からの俳画を贈呈すると、絵と句の説明を各々に求められ、平素外国語に縁の少ない愛媛の指導者は柔道談義とは異なり悪戦苦闘する姿に笑いが渦巻きプレゼント交換でも大いに盛り上がり、お互いに記憶に残る交流ができた5泊6日の松山滞在だったことと思います。

フランスの柔道は、現在国内の96県、国外の島等の4県計100県に、5500の柔道クラブの連合によって50万人の会員を擁しているが、全てスポーツ省の統括と監督の下でありそれぞれの指導者は国家試験を受けなければならず、合格して初めて「指導者として認定」されるとのことで研修も義務化されており資質の向上に努力する指導者の姿を垣間見ることが出来ました。

意見交換では、「柔道のマナー、技と反則、スペシャルテクニックの作り方等」また「日本のアテネ五輪でのメダルダッシュの理由」「日本と外国の指導法の差異」等々について日仏英三ヶ国語に手振り身振りの指導者同士が熱いやりとりをして交流を深めました。

特に、フランスではやろうとしても出来ない「日本の学校体育や部活動」に対して素晴らしい制度だ「羨ましい限り」と口々に絶賛いただいたことが印象的でした。

これまでに、ドイツジュニアチームの合宿、アメリカ

西海岸柔道指導者のホームステイ事業等を受け入れてきましたが、今回の研修で相互訪問の国際交流が出来るよう、協会会員一同体制を強化して行きたいと改めて感じている次第です。



私と合気道

愛媛県合気道連盟 副会長
鈴木 茂

平成18年はあっという間に過ぎてしまいました。愛媛県合気道連盟の副会長として、県における合気道の行事を行うにあたり、松森連盟会長の補佐を務め多忙でありました。4月には東京の財団法人合気会本部より、大澤隼人先生をお招きし、県立武道館にて合同稽古を通じた技術講習を行いました。県内から合気道修行者が200名ほど集まり、盛況に無事敢行されたことが、最高の成果であったろうと思っております。いい道場・いい先生・いい門人・いい汗・・・本当にすばらしい「時」をいただきました。また個人的に、財団法人合気会の愛媛県支部長として、大学や秋山兄弟道場、愛媛県支部道場の指導に加え、今年は長野県、高知県へも足をのびした指導が出来、充実した年でありました。12月3日には、松山市合気道協会主催の演武会が行われ、これが平成18年の締めくくりの、私の「修行の場」となりました。

私はなぜそんなに40年以上も合気道にとりつかれているのでしょうか。恩師西尾昭二先生から常々「合気道は、プロになってはいけません。人生生活の中に生かしてこそ“道”である」と指導を受けて参りました。私の考えですが、習い事はいい先生に習わなければならないと思っております。この世界的な合気道の権威である恩師に出会えたことが、まず私の大きな幸せでした。対岸にプロとして、本業の印刷会社の仕事があります。一番大切な事です。一番大切な仕事と合気道は、車の両輪なのです。だから稽古をするのです。一生懸命稽古することにおいて、仕事もうまく行きます。どちらも手抜きはいけません。それが私の生き方であり恩師の指導です。

合気道を今さら説明する必要もないと思いますが、明治時代創始者植芝盛平翁が古来の体術・剣術・槍術等をまとめ上げたものです。戦前は特別な世界の人々(軍人・中野学校・近衛兵等)にしか縁のないものでしたが、戦後になり一般に公開され私達にも道が開かれました。総合武道としての魅力は、言葉では現しがたいものであり、無限の修行の世界であります。

合気道特有の手引きの心(対面して手を握り、相手を安全な方向に導く)という稽古方法を通じ、人との関わり方を学びます。そして身体づくりもさることながら、合気道は脳を鍛える武道です。論理的に合理的に動く「武道的理合」を学びます。これは左脳の世界です。また相手と触れ合う瞬間に必要な感覚を身につける「感性」は右脳の世界です。つらい・苦しい・辛抱する「我慢」は脳幹の世界です。これらを鍛える“道”なのです。そして心の大きな懐の深い優しい人間が自然に出来上がっていきます。これこそ今の利己的な日本人に欠けている人間教育であり社会教育であります。今の子供達に一番必要な?と思う昨今です。

私は、生活の中の合気道を通じ、社会的に大きな生き甲斐を感じ、楽しく澆刺と幸せに過ごせることを、深く感謝しております。今後は、合気道のもつ総合武道としての魅力、生活の中に合気道を生かした人間関係力、文化・伝統・精神を後進に伝えて行くことが、40年修行の集大成としての、私の役目と思っております。

平成18年度地方青少年銃剣道錬成大会を主管して

愛媛県銃剣道連盟
竹下 利一

平成18年7月15日～17日の間、愛媛県武道館において中国四国各県から、受講者(小、中、高校生60名)と指導者、役員23名が参加し、中央派遣講師、兼坂弘道範士9段、江川友親範士9段の熱意溢れる指導のもと、基本錬成を主眼に正しい銃剣道の普及と、相互の親睦を図り、心身を鍛練して、正しく、明るく、強く、逞(たくま)しい人間形成に資することを柱に、三日間の錬成大会を実施いたしました。

この間、両派遣講師の卓越したご指導と、受講者の熱心な受講態度により、基本、応用技の向上は著しく、また錬磨を通じて他県受講者間の親睦も深まり、十分に初期の目的を達成できたものと確信いたしております。また、この間、準備の段階から県武道館秋川秀美館長をはじめ関係職員方々の心のこもったご指導、ご支援をいただき大会運営が極めてスムーズに運営できたことを心から感謝申し上げます。

最後に銃剣道を修行して行く上で大きな幹となる指標を紹介して斯道を志す若い世代を募ることについて、各関係機関及び諸先生方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

《銃剣道修行の指標》

銃剣道の修行は、たゆまない努力によって心身を鍛錬陶冶し、規律を守り、礼儀を尊び信義を重んずる等、社会人として必要な道徳性を高め、もって、

正しく、明るく、強く、逞しい

人間形成を目指し 精進するものである。

社団法人 全日本銃剣道連盟

愛媛県武道館での主要行事(2月・3月)のご案内

開催日	行事名	主催・主管
2月18日(日)	第20回ひめライス杯 南海放送レディース卓球大会	愛媛県卓球協会・ 南海放送
2月25日(日)	第31回近県少年剣道錬成久米 大会並びに仙波義則杯争奪戦	久米剣道会
3月10日(土)	第13回バレーボールフェス ティバル	愛媛県 バレーボール協会
3月11日(日)	愛媛グランドチャンピオン シップ2006	愛媛県 バドミントン協会
3月18日(日)	瀬戸内少年柔道大会	愛媛県柔道協会

(大会日程等は、変更される場合があります)

(お知らせ)

隣接の坊っちゃんスタジアムで、下記日程でプロ野球オープン戦が開催されます。

松山中央公園への車の乗り入れが規制されます。武道館利用に際しての駐車についても、事前に整理券が必要となりますのでご注意ください。当日武道館へお越しの方は、できる限り公共の交通機関をご利用下さい。

3月4日(日) 西武 vs 横浜 13:00試合開始

3月8日(木) 阪神 vs 楽天 13:00試合開始